

農問研ニュース 第10号

2010年6月21日

◆本号の内容

1. 2010年度春季大会が開催されました
2. 学会賞の授賞が行われました
3. 2010年度の常任幹事会の体制について
4. 2010年度秋季大会の概要について
5. セット販売にご協力ください！—50周年記念出版事業の経過報告—
6. 2010年度学会賞推薦募集のお知らせ
7. 2009年度第3回幹事会議事要旨
8. 2010年度総会議事要旨

1. 2010年度春季大会が開催されました

2010年3月26日に京都大学において2010年度春季大会が開催されました。関西地区での開催ではありましたが、70名を超える参加者にご来場いただき、盛会のうちに閉会致しました。なお、大会当日午前中に、若手研究者・大学院生のための情報交換会を開催し、参加者10名に加え、若干名のオブザーバー参加もあり、研究テーマの紹介や学会のあり方について忌憚ない意見交換がなされました。

【日時】 2010年3月26日（金） 13:00～17:30

【場所】 京都大学吉田本部構内 法経本館1階第5番教室

【大会テーマ】「現代資本主義と家族農業経営

—農業の資本主義化の「限界」と資本による農業・農村の「包摂」—

【座長】 酒井富夫（富山大学）

【基調講演】 梶井 功（東京農工大学名誉教授）

【報告者】 第1報告：現代の農民層分解論からのアプローチ

「80年代後半以降の農業構造、農業政策の変化と特徴」

後藤光蔵（武蔵大学）

第2報告：現代の資本の展開論理からのアプローチ

「わが国農業・農村における資本の展開と『包摂』の現状」

槇平龍宏（財団法人農政調査委員会）

【コメンテーター】 平野信之（中央農業研究センター）

2. 学会賞の授賞が行われました

学会賞選考委員会における厳正な審査の結果、2010年度総会において、下記の作品に対し学会賞が授与されました。

(1) 学術賞

平野信之著『大消費中核地帯の共生農業システム』農林統計協会，2008年11月

(2) 奨励賞 該当なし

3. 2010年度の常任幹事会の体制について

5月8日に開催された第1回の常任幹事会において、2010年度の体制が下記のように決まりました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

・代表幹事	津田 渉 (秋田県立大学)
・編集委員会担当	横山繁樹 (国際農林水産業研究センター)
・大会企画担当	平野信之 (中央農業総合研究センター)
・学会賞担当	橋詰 登 (農林水産政策研究所)
・大会事務担当	李 侖美 (日本農業研究所)
・庶務担当	関司直也 (法政大学)
・事務局担当	平林光幸 (農政調査委員会)

4. 2010年度秋季大会の概要について

2010年度秋季大会の概要が決まりましたので、お知らせ致します。秋季大会では午前の部において個別報告を実施いたします。個別報告への多数のご応募をお待ちしております。なお、秋季大会の詳細な内容につきましては、追ってご案内をお送りいたしますので、よろしくお願ひします。

日 時： 2010年11月23日(火・勤労感謝の日)

会 場： 東京大学農学部

内 容： 個別報告＋ミニシンポジウム

ミニシンポジウムテーマ：『「戸別所得補償制度」の検討

—「モデル対策」実施の影響—(仮題)

座長：小野智昭(農林水産政策研究所)

5. セット販売にご協力ください！—創立50周年記念出版事業の経過報告—

農業問題研究学会では、創立50周年記念出版事業として2008年11月に「現代の農業問題」シリーズ全4巻を発刊しました。発刊に伴い、学会として200セットを出版元の筑波書房より買い取り、学会員向けとして4巻セット1万円にて販売を行っております。これまで会員各位の研究の一環として販売を進めて参りましたが、まだ若干の在庫を有しており、今年度での完売を目指しております。つきましては、会員の皆様には改めてセット販売にご協力を頂きたくご案内申し上げます。各巻の内容につきましては、同封のちらしをご覧頂き、購入ご希望の方は学会事務局までお申し込みください。なお、4巻セット1万円での販売は、学会事務局のみでの取り扱いとなりますのでご注意ください。ゼミでの利用の際は、単冊の場合でも結構ですので事務局にご相談ください。

6. 2010年度学会賞推薦募集のお知らせ

農業問題研究学会では、2006年度より「農業問題研究学会賞」の授賞を実施しています。

会員の皆様は学会賞の選考対象を推薦することができます。募集要項を同封いたしましたので、候補のご検討をよろしくお願ひ致します。なお、学会賞の推薦にあたっては、学会ホームページに掲載しています学会賞表彰規程ならびに学会賞表彰規程細則をご参照ください。

<対象者>

- (1) 「農業問題研究学会学術賞」…特に顕著な研究業績を公表し、本学会の発展に寄与した会員。
- (2) 「農業問題研究学会奨励賞」…顕著な研究業績を公表し、今後の一層の発展が期待される、2010年10月末日現在で、満40歳未満の会員。

上記二賞を授与される人数は、原則として毎年それぞれ1名とし、賞状と金一封（3万円）が授与されます。〔表彰規程第2条・6条、細則第5条〕

<対象作品>

選考対象となるものは、上記の対象者が2007年11月1日～2010年10月末日の3年間に公表した業績で、著書、論文、またはそれに準ずるものです。〔表彰規程第3条、細則第2条〕

なお、学会賞につきましては原則として単行本およびそれに準ずるもの、奨励賞につきましては『農業問題研究』投稿論文またはそれに準ずるものとします。

7. 2009年度第3回幹事会議事要旨

2010年度春季大会前日の3月25日（木）、京都大学におきまして、2009年度第3回幹事会が開催されました。主要な議事の内容は以下の通りです。

(1) 総会議事内容の検討

総会議案については、すべて了承された。

(2) 会費未納5年以上の者の退会処分について

会費未納者に対する退会処分案について、全会一致で承認された。

(3) 学会賞選考委員会報告

○2010年3月25日、京都大学において17時～18時まで選考委員会を開催した。

(4) 学会創立50周年記念出版の販売状況について

○学会による買取805冊（第2巻が在庫不足となり、5冊を筑波書房より追加買い取り）のうち635冊を販売し、残数は170冊。2010年度中に完売することを目指し、会員にさらなる購入呼びかけを行うことが確認された。

その他、学会運営の活性化について、2009年度秋季大会のミニシンポジウムのテーマに関して意見交換がなされた。

8. 2010年度総会議事要旨

2010年3月26日に、京都大学において、2010年度通常総会が開催されました。主要な議事の内容は以下の通りです。

(1) 報告事項

○2009年度の大会開催状況、幹事会開催状況、常任幹事会開催状況等について報告があった。

○編集委員会の開催状況、2009年度会誌未発行の理由について報告があった。

○会員数とその増減について報告があった。

2009年度増加分：入会者数7名（一般会員2名、学生会員5名）

2009年度減少数：退会者数7名、資格喪失者数9名

→2010年度期首会員数は264名

会員数の減少傾向が続いていることから、新規会員募集と会費納入の呼びかけが併せてなされた。

○会費納入状況について

・2009年度会費納入対象者276名のうち、194名が2009年度分までの会費を納入済。

○50周年記念出版事業特別予算 2009年度決算について報告があった。

(2) 承認事項

○2009年度決算案について承認された。

○2010年度新体制（幹事会・編集委員会・会計監査）について賛成多数で承認された。

◆新幹事（24名）：

【北海道】・細山隆夫（北海道農業研究センター）・井上誠司（北海道地域農業研究所）

【東北】・泉谷眞実（弘前大学）・冬木勝仁（東北大学）・津田渉（秋田県立大学）

【関東】・香月敏孝（農林水産政策研究所）・横山繁樹（国際農林水産業研究センター）

・橋詰登（農林水産政策研究所）・李侖美（日本農業研究所）

・千年篤（東京農工大学）・関司直也（法政大学）・斉藤潔（宇都宮大学）

・平林光幸（農政調査委員会）・平野信之（中央農業総合研究センター）

・鈴木源太郎（農林水産政策研究所）・友田滋夫（農村開発企画委員会）

・杉原たまえ（東京農業大学）

【北陸・中部】・加藤辰夫（福井県立大学）・三浦聡（名古屋大学）

【近畿】・松原豊彦（立命館大学）・大西敏夫（和歌山大学）

【中国・四国】・板橋衛（愛媛大学）

【九州・沖縄】・辻一成（佐賀大学）・渡辺克司（鹿児島国際大学）

→幹事承認後、第1回幹事会を開催し、幹事の互選により津田渉氏（秋田県立大学）を代表幹事として選出した。

◆編集委員関係

○新代表編集委員 横山繁樹（国際農林水産業研究センター）

○新編集委員 斉藤一治（栃木県農業会議）、澤田守（中央農業総合研究センター）

◆会計監査 小野史（東京大学大学院）、大橋めぐみ（農林水産政策研究所）

○50周年記念出版特別会計の終了について承認された。

(3) 討議事項

○2010年度の事業計画について承認された。

○2010年度予算案について承認された。

【連絡先】 農業問題研究学会事務局

TEL:03-3910-7223 FAX:03-3910-7267 ((財)農政調査委員会内 担当：平林)

E-mail: jimukyoku@noumonken.sakura.ne.jp